

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：2014年 5月1日(木)

地域企業紹介 30

プライムダイレクト株式会社



相模原の地から市場創造

OA機器の販売やプリンターのリサイクルトナーの販売を手がけるプライムダイレクト株式会社の鈴木祐幸社長を相模原市中央区田名の本社に訪ねました。

同社は町田市にあるコンピュータ用の磁気製品、プリンター、リサイクルトナーの販売を手がける株式会社プライムから平成19年4月にプリンター販売とリサイクルトナー部門を分社化させる形で相模原市田名で創業している。鈴木社長は現在47歳。OA機器メーカー2社の営業職を経て、平成21年に創業間もないプライムダイレクトに営業の責任者として入社する。商品競争力があり利益率も高いリサイクルトナーの販売に注力し、赤字が続いていた同社の経営を立て直し、その実績が買われ4年後の平成25年1月に社長に就任している。

社長になって、まず取り組んだのが社員の意識改革と多能工化だという。鈴木社長は従業員の仕事に対する期限の感覚を引き締める意味で「そのうちにやっておいて」という指示は3日以内に。「早めにやっておいて」は今日中に。というルールを徹底させたそうだ。

また、営業、製造、事務を問わず思い切った配置転換をどんどんやり、社員全員が何でもやる、どこでも守れる体制づくりを進めたそうだ。今では、会社の売上を少しでも上げるため全員が営業という心構えになったそうだ。そうしたことが功を奏し、直近3期は連続で黒字決算に。今期も増益を見込んでいる。

(2面につづく)

プライムダイレクト株式会社

代表取締役 鈴木 祐幸

所在地：相模原市中央区田名5577番地3

従業員数：18名 資本金：2,000万円

売上高：2億8千万円（平成25年度実績）

事業内容：リサイクルトナー販売、各種OA機器サプライ販売、

OA機器販売、プリンター修理



同社の顧客数は約2万社で神奈川県、東京都の顧客が約4割。将来はこの地域の比率をもっと引き上げるとともにさらに地域を狭く絞り、一社、一社の詳細な顧客情報を把握したうえで営業する地域密着型のビジネスにしたいと考えている。鈴木社長はこれを超マイクロマーケティング戦略と言っている。

そして、昨年からはじめた新規事業が無料レンタルプリンター「プリプラ」の事業だ。顧客に同社がメンテナンス・クリーニングした中古プリンターを無料で提供する。送料や設置費も無料。納品後の修理費用も無料。顧客は格安のトナー料金を支払うだけという仕組みだ。これは、富山の薬売りのビジネスモデルを参考にしたそうだ。無料で貸出すプリンターは大手メーカー7社、約30機種の中古品のなかから選べる。導入コストとランニングコストがかさむオフィス用プリンターを導入したい小規模な企業にとってはとても魅力的なサービスだ。すでに大手企業や官

公庁でも採用されているという。また、このビジネスモデルは「かながわビジネスオーディション2014」第11回多摩グリーン賞」2つのビジネスコンテストでも受賞するなど各界から高い評価を受けている。今月よりこの事業のフランチャイズ展開を始めたそうだ。相模原市内で創業したブックオフが中古本の世界で巨大な市場を創造したように、鈴木社長率いるプライムダイレクトも無料レンタルプリンターとリサイクルトナーで新たな市場創造を目指している。

入居企業紹介

35

親しみやすさをモットーに

木下敦子税理士事務所

税理士事務所を立ち上げて15年、女性税理士として親身な対応で顧客を広げてきた木下税理士事務所をご紹介します。

相模原、町田を中心に製造業、サービス業、建設業、小売業などお客様の業種は様々。同事務所は、税理士資格と行政書士資格を有し、会計業務、各種助成金や給付金の申告、経営コンサルティングなど、多岐に渡りご相談を受け付けています。お客様からは、「とても親しみやすく、経営内容で言いづらいことも「お母さん」のような存在で見守っていただき、何でも相談できます。」と頼りにされています。

そんな木下さんのお勧めは、税理士が資金を出し合って制作した会計ソフト『SaaS会計事務所プロジェクト(略称:A-SaaSアカウントサース)』です。顧問先のお客様にご提供している無料の会計ソフトです。

SaaS(Software as a Serviceの略)とは、クラウドコンピューティング(ユーザーが遠隔地のデータセンターにあるソフトウェアをインターネット経由で利用して処理する)の仕組みを使って、インターネット経由でソフトウェアを提供するサービスのことです。

従来は、ユーザーがソフトウェア製品のライセンスを購入して、ユーザーがそのソフトウェアを自らのPCにインストールして使用する形態でした。一方、SaaSでは、IT企業が使用するデータセンターのコンピュータの中にあるソフトウェアを、多くのユーザーがインターネット経由で共有し、サービスとして使用する形態です。

そのメリットは、ユーザーがソフトウェアを購入するのではなく、使用した期間だけのサービス料を支払うことです。ソフトウェアの管理・保守が全てデータセンター側の管理となるため、ユーザー側での管理・保守が不要となります。会計ソフトが進化



しバージョンアップしてもソフトや機械を買い替える手間や出費がかからず、またデータは、複数の遠隔地でバックアップされている為リスクマネジメントにも最適で、企業の皆様にお勧めだそうです。いつでもご相談ください。

これからも相模原の地域振興のため、さらに地元に密着した税理士事務所であり続けたいと話す木下さんです。



木下敦子税理士事務所
SIC-2 601号室
Tel : 042-770-9464 Fax : 042-770-9463
URL : <http://www.kinoako.com/>

証言で綴るSICの歴史(最終回)

株式会社クリエイト 代表取締役 小俣 晃之



SIC(相模原市)を退職してから14年が経ちました。現在は新潟県長岡市で研磨を中心とした部品加工業、研磨機、切削機、研削機、洗浄機などの装置開発から製造販売、消耗品の販売を商いしております。

SICは、相模原市経済部(当時)が、「新たな産業を創出するために何ができるのか…」ということを真剣に考え、もがいた上に始まったプロジェクトでした。きっかけは16年前。世の中がミレニアムに湧いている頃、技術士の佐藤善治先生から東京大学と慶応大学の先生を紹介いただき、市内企業対象の大学研究室のテーマ発表会を開催しました。いわゆる「産学連携」のマッチングです。また、当時課題となっていた西橋本地域の再開発の目玉として、「産学連携」による新たな産業創出のための「施設づくり」が検討され始めていました。やはり、建物ありきなのか…という疑念がこみ上げる中、血の通った本当に必要不可欠になるしくみが作れないだろうか。そんな思いから、市内企業経営者の皆さんに、1年の間貴重な時間をいただき10回以上「無報酬・手弁当検討会」を実施させていただき、議論だけでなく、大学などの施設や共同開発の現場の見学などをしながら、様々な賛成・反対の意見を受けました。そして、市役所の天下り先ではなく、ビジネスプランを持った民間企業として存在することを意義付け、起業希望者や新たな開発を進める企業にスペースを提供し、会社設立から開発・人材育成・営業促進・経営に関する相談が受けられる、投資もできるなどの、実のあるバックアップをするための株式



会社を設立する提案がなされました。市役所内部では、公務員が株式会社をつくり、経営するという事に多少の疑念は持たれたものの、産業創生に向け、自ら利益を計上し、地域に貢献する。そして、結果として多数の新たなビジネスを創出する…前しか向かず突き進む中で、少しずつ認知を受け、支えを受けながら何もない中で始めた一つのきっかけと多くの人の考えや想いがSIC誕生の流れを創ったのです。

SICが実現できたのは、行政と商工会議所の連携、そして当時の松井社長、河本取締役、権田取締役、松岡取締役を中心とした市内経営者の皆さんの支援と地域振興整備公団の江越取締役のご尽力があったからだと思います。役員の皆さんは、自らの仕事をやりくりして出資金集めに一緒に奔走してくれました。また、創業者支援事業、施設建設、会社運営のため、担当に分かれ、スタッフと一緒に創り上げてくれました。会社のあらゆる課題が、素早く的確に決定・実施される「相模原市と経済界が

一つになって進んでいる」実感が、私たちを奮い立たせてくれたことを今でも覚えています。会社設立1年目は、寝ずに働いた1年であり、充実した1年でもありました。

そして、動き始めたSICには、現在友人として親しくしていただいている経営者の先輩たちが立ち寄り、たくさんの叱咤と少しの温かい励ましをいただきました。市役所の仲間も自発的に手伝ってくれました。当時は人に感謝する余裕もありませんでした。竣工式を迎えたときは感謝の思いでいっぱいでした。

SICの目的である産業の創出は永遠のテーマであると思います。既存企業の成長支援、製品開発支援は当然のことですが、さらに将来を見据えた投資・教育が大切です。また、コミュニケーションの中心として、人が集う場であり、議論が飛び交う場であって欲しいと思います。SICは、この難しい時代を切り開く突破口であり、既存企業に対しては、時に先を走り、日々は縁の下の力持ちでいてほしい。OBとしての切なる願いです。

山本のめしやレポート

福德 橋本本店

橋本駅北口徒歩3分にある橋本の元祖やきとり屋です。いつも、店先からやきとりの良い匂いがしています。鳥串も豚串もどれも一本百数十円。居酒屋メニューも揃っています。串盛り10本セット+oneで結構楽しく飲めますよ。仲間と楽しく、わいわい、お手軽に飲むにはピッタリのお店です。

福德 橋本本店 緑区橋本6丁目1-15
Tel.042-773-8740 定休日:日曜日



鹿児島産黒豚 串盛り10本セット
味噌が美味しい!



カレイ唐揚げ(470円)



もつ煮



第8期

SIC職場リーダー養成塾

《SIC職場リーダー養成塾 塾生募集！》

平成26年度のSIC職場リーダー養成塾の塾生の募集を開始しました。職場リーダーに求められる役割とは、「部下やメンバーの特性を知り、潜在的に持つ力を最大限に引き出し、周囲を巻き込み、成果を出す」こと。新しい塾長とコーディネーターを迎え、講義内容もより充実したものになっています。

【開催日】平成26年6月7日(土)

～12月5日(金)全9回

【会場】SIC他

【対象】中小・中堅企業の職場のリーダー及びリーダー候補

【募集人数】20名(1社3名まで受講可)

【受講料】118,000円(消費税別)

「ニュービジネスリーダー」育成セミナー

SIC
経営塾

《SIC経営塾 塾生募集！！》

今一度経営の基本を確認しながら、塾生間の刺激ある議論を通じて、戦略の改革、仕組みの改革、体質の改革を導き出す、自社の事業構想を再構築する場として位置づけ、皆様にとって意義ある場にしていきたいと考えています。

【開催日】平成26年6月14日(土)

～平成27年2月 7日(土)

【会場】SIC-2(相模原市西橋本)

【対象】経営者 または 経営幹部

【募集人数】15名

【受講料】200,000円

(消費税別・1泊2日の合宿費用を含む)



《SICアントレ・インターンシップ》

「SICアントレ・インターンシップ」は、毎年8月に開催される「子どもアントレ」の企画運営を大学生が中心になって行うものです。第11期生を募集しています。

【開催日時】平成26年6月8日(日)～10月上旬

【会場】SIC他

【対象】大学生・大学院生・専門学校生

【募集人数】15名

■事前説明会

平成26年5月11日(日)、5月25日(日)

場所:SIC-2(相模原市西橋本)

内容:内容説明、OBOGの感想、質疑応答、その他

SIC事業の報告

第28回南西フォーラム

-ロボットを活用したライフ＆ヘルスサイエンス業界へのビジネス展開を考える-

3月3日(月)、77名の方にご参加いただき、産総研、地域企業、近郊大学より業界全体の動向や地域企業、大学での取り組みについて講演を行いました。



《第6回モノづくり企業のための宇宙科学研究会》

-テーマ:宇宙ロボット開発のすすめ-

3月12日(水)、34名の方にご参加いただきました。今回の講演内容は、JAXA宇宙科学研究所の大槻真嗣助教より中小企業の宇宙産業分野への参入事例の紹介など。



第7回:子どもワークショップ

「親子でつくろう！ドライフラワー」

3月8日(土)に開催した今年度最終回となった第7回『親子でつくろう！ドライフラワー』には21組の親子が参加。今回は、日本化工機材株式会社の方々に講師を務めていただきました。



《第一回日台環境・建築ビジネスマッチング》

3月13・14日、台湾において、台湾企業と連携してアジアへの進出や、台湾での販売先やOEM、ODM先を探すことを狙いに環境関連機器の分野でのマッチングを開催しました。参加日本企業5社のプレゼンテーションには、60名の参加をいただき、個別商談では、35件の商談がありました。



2014.5

SIC EVENT CALENDER イベントカレンダー

5月11日(日) SICアントレ・インターン事前説明会

5月25日(日) SICアントレ・インターン事前説明会

6月 1日(日)～ 子どもアントレ応募受付開始

6月 7日(土)～ SIC職場リーダー養成塾 開塾

6月 8日(日)～ SICアントレ・インターンシップ開始

6月14日(土)～ SIC経営塾 開塾

アンケート結果や参加者の声を掲載しています。

詳しくは、SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp>

編集後記

今年もアントレ・インターンシップの募集を開始しています。既に皆様ご存じかも知れませんが、夏の子どもアントレの企画運営を行っていただくものです。「どんな事をするの?」「普通のインターンシップじゃないの?」と思われる方が多いと思います。「ひと足先に社会人!」のキャッチフレーズ通り期待していただき、大学生・専門学校生のご子息、ご息女を、是非、事前説明会へ送り出してください。お待ちしております!



入居企業を募集してます。

SIC空室情報 (2014年4月25日 現在)

部 屋	空 室 数	賃料・共益費 /月額(税抜)
SIC-1 スモールオフィスB (17.3㎡)	1	64,200円
※スモールオフィスB (17.3㎡)	1	64,200円
SIC-2 オフィス (50.2㎡)	1	172,700円
SIC-3 現在空室はありません	-	-

※書きについては、平成26年5月中旬より入居可



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>